

学校の教育目標 (育成を目指す資質・能力)		○考える子：自分の考えをことばで表現できる思考力 ○がんばる子：最後までやりぬく、生き抜く力の基礎 ○思いやりのある子（重点目標）：自己を大切にする心情を豊かに表現できる力 ○明るい子：友達にも、地域の方にも、さわやかに。		【目指す学校像（ビジョン・ミッション）】 ○東村山市学校運営協議会制度発足の趣意を踏まえた、より開かれた学校：「おらが学校」と呼んでもくださる地域に感謝し、誇りをもって活動する学校 ○困難な時代を健康・安全に生き抜く学校 ○「東村山夢と希望プロジェクト」 「東村山スマートスクール構想」などの市の施策に、正確に対応できる学校 【育成すべき資質・能力「自分や他者を大切にする思いや考えを豊かに表現し、広げられる力」（書く力を活用して）】		その他 特記事項					
【目指す学校像】		【目指す教員像】		【目指す児童・生徒像】							
①児童にとって明るく、楽しく、安心できる学校 ②教職員にとって、明るく、楽しく指導が行える学校 ③保護者・地域と連携し、信頼される学校		①児童一人一人の権利を尊重する教職員 ②自ら学び続ける教職員 ③児童に達成感を味わわせ、確かな学力・自尊感情を育む教職員 ④保護者・地域から信頼される教職員		①相手の思いや考えを、温かく、正しく受け止めることができる子 ②書きながら考え、伝えは考える、自分の考えを表現することを楽しむ子 ③明るくあいさつと他への声掛けのできる子 ④思いやりの心をもって行動できる子							
領域	中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための方策	取組指標（教職員の取組）	取組自己評価 6月11月2月評価	成果指標（児童・生徒等の姿容・成果）	成果自己評価 6月11月2月評価	成果指標（保護者の理解・成果）	成果自己評価 6月11月2月評価	中間申告（分析・修正案）	最終申告（分析・改善策）
学習指導	○「主体的・対話的で深い学び」を通して、生涯にわたって自ら問い続けられる力を身に付ける。	○全教育活動において、豊かに表現する活動を中心に「自己を大切にする思いや考えを豊かに表現し、広げられる力」の育成を図る。	「自己を大切にする思いや考えを豊かに表現し、広げられる力」(主に書く活動を通して)の実現に向け、年間8回の授業研究や講師による講演の実施を通して指導力向上を図る。	自己を大切にする思いや考えを、主に書く活動を通して児童がノートやワークシート、タブレット、作品などに表現し、互いに交流する実践を1日1回以上行う。	目標 80% 達成 90% 達成 95% 達成	児童アンケートで、自分や友達を大切に する思いや考えを表現することが好き で、肯定的に自己評価する児童の割合を8 0%以上とする。	目標 80% 達成 90% 達成 95% 達成	保護者アンケートで、学校は自分や他者 を大切にする思いや考えを豊かに表現し、 広げられる力を身に付けさせるような取組 を行っている。の肯定的な回答を8 0%以上とする。	目標 80% 達成 90% 達成 95% 達成		
				全教科・領域でタブレット端末や大型提示装置（学年によってはデジタル教科書）を活用した授業を充実させ、個別最適な学びを実現させる。	目標 80% 達成 90% 達成 95% 達成	児童アンケートで、タブレット端末や大型提示装置（学年によってはデジタル教科書）などを活用して、楽しく授業ができていると肯定的に自己評価する児童の割合を80%以上とする。	目標 80% 達成 90% 達成 95% 達成	保護者アンケートで、学校はタブレットや大型提示装置（学年によってはデジタル教科書）などを活用し、児童が主体的な学習ができるような取組を行っている。の肯定的な回答を80%以上とする。	目標 80% 達成 90% 達成 95% 達成		
				○思考力・判断力・表現力を駆使し、学んだことを活用できる論理的思考力を育み、学力・体力を向上させる。	目標 80% 達成 90% 達成 95% 達成	児童アンケート及び授業評価で、授業が分かりやすいし、肯定的に自己評価する児童の割合を80%以上とする。	目標 80% 達成 90% 達成 95% 達成	保護者アンケート（自由記述を含む）で、学校は児童の学習のつまずきや生活面での困り感などに対しての保護者からの相談体制が整っている。の肯定的な回答を80%以上とする。	目標 80% 達成 90% 達成 95% 達成		
				○学習の見通しをもたせける「ふりかえり」を取り入れた授業を1日1回以上行う。	目標 80% 達成 90% 達成 95% 達成	児童アンケート及び授業評価により、継続して運動に親しんでいる、と肯定的に自己評価する児童の割合を80%以上とする。	目標 80% 達成 90% 達成 95% 達成	保護者アンケートで、学校は体育の授業を通して、児童が自ら運動に親しむような取組を行っている。の肯定的な回答を80%以上とする。	目標 80% 達成 90% 達成 95% 達成		
生活指導・進路指導	○思いやりのある心の育成を図るとともに規範意識を高める。	○「東村山市いじめ防止等のための基本方針」に基づいたいじめ防止、不登校の解消を目標とした組織対応の強化を図る。	だれもが安心して通うことのできる学校づくりを行う。不登校対策プロジェクト（ケース会議）やネット・ルーム事業を活用し、不登校0を目指す。	不登校対策プロジェクト（ケース会議）を毎月の校内支援委員会時に同時開催し、組織としての進行管理を行う。	目標 90% 達成 95% 達成 95% 達成	家庭訪問だけでなく、電話や手紙、タブレット端末と様々な方法を活用して、不登校が困難な児童と対話し、児童の長期欠席を0にすることを目指す。	目標 90% 達成 95% 達成 95% 達成	保護者アンケートで、学校は児童が安心して登校できるように、児童や保護者に適切に働きかけている。の肯定的な回答を80%以上とする。	目標 80% 達成 90% 達成 95% 達成		
				ふれあいアンケートを活用して適宜実施把握し、いじめ防止対策委員会と連携し、いじめの未然防止と確実な解決を徹底する。	目標 90% 達成 95% 達成 95% 達成	児童アンケートで、いじめは絶対にしない、と答える児童の割合を90%以上とする。	目標 90% 達成 95% 達成 95% 達成	保護者アンケート（自由記述を含む）で、学校は児童の学習のつまずきや生活面での困り感などに対しての保護者からの相談体制が整っている。の肯定的な回答を80%以上とする。	目標 80% 達成 90% 達成 95% 達成		
				あいさつや思いやりのある言葉かけを、教職員が率先して行うとともに、児童、保護者、地域関係者と連携した「あいさつ運動」を1日1回以上行う。	目標 80% 達成 90% 達成 95% 達成	児童アンケートで、友達や地域の人と会ったらずんばであいさつしている、と肯定的に自己評価する児童を80%以上とする。	目標 80% 達成 90% 達成 95% 達成	保護者アンケートで、学校は進んであいさつができるような取組を行っている。の肯定的な回答を80%以上とする。	目標 80% 達成 90% 達成 95% 達成		
				自己を思いやる心を育むために、児童の意見も取り入れながら「きれいなことば」「きれいなことば運動」を年間を通して計画的に行う。	目標 80% 達成 90% 達成 95% 達成	児童アンケートで、クラスの標語を意識し、きれいな言葉をつかって生活している、と肯定的に自己評価する児童を80%以上とする。	目標 80% 達成 90% 達成 95% 達成	保護者アンケート（自由記述を含む）で、学校は「きれいなことばときれいなことば」の運動などを通して、互いの権利を尊重して、思いやりの気持ちももてるような活動を行っている。の肯定的な回答を80%以上とする。	目標 80% 達成 90% 達成 95% 達成		
学校運営	○「こども基本法」の理念を踏まえ、人にもやさしく他者を思いやる心を育て、保護者・地域に信頼される、学校運営を行う。	○学校運営協議会制度でいたいたご意見を生かした学校経営を着実に実施する。	学校公開、学校行事、保護者会・個人面談を計画的に実施するとともに、 れんが（アプ） ・学校ホームページを通して学校情報を広く公開する。	学校ホームページやれんが・アプによる情報を迅速に発信し、常に最新の学校情報を届ける。	目標 95% 達成 95% 達成 95% 達成	児童アンケートで、学校ホームページをみたことがある、と肯定的に自己評価する児童の割合を80%以上とする。	目標 90% 達成 95% 達成 95% 達成	保護者アンケートで、学校は学校公開、学校だより、各種配布物、学校配信メール、ホームページなどを通して、児童の様子が分かるように知らせている。の肯定的な回答を80%以上とする。	目標 80% 達成 90% 達成 95% 達成		
				PTA野火止会、恩多町推進プラン委員会、各青少年、主任児童委員、民生委員等の保護者・地域関係者との情報連携、行動連携を緊密に行う。	目標 80% 達成 90% 達成 95% 達成	児童アンケートで、地域のお祭りやスポーツ大会があったら参加したい、と肯定的に回答する児童の割合を80%以上とする。	目標 80% 達成 90% 達成 95% 達成	保護者アンケートで、学校は地域の方や保護者と協力・連携をして、児童が地域に貢献をもてる教育活動を行っている。の肯定的な回答を80%以上とする。	目標 80% 達成 90% 達成 95% 達成		
				○特別支援教室拠点校として、巡回指導教員在籍校のメリットを生かした教育活動を充実させる。	目標 80% 達成 90% 達成 95% 達成	特別支援教室の巡回指導教員による特別支援教室への理解・啓蒙授業を受けた児童アンケートで、特別支援教室のことが分かった、と回答する児童を80%以上とする。	目標 80% 達成 90% 達成 95% 達成	保護者アンケート（自由記述を含む）で、学校は児童の学習のつまずきや生活面での困り感などに対しての保護者からの相談体制が整っている。の肯定的な回答を80%以上とする。	目標 80% 達成 90% 達成 95% 達成		
				○避難所運営連絡会との協働により、避難所開設に向けた連携体制や児童を保護者に引き渡すまでの間に校内に留め置く際の体制を整える。	目標 80% 達成 90% 達成 95% 達成	児童アンケートで、いざというときに自分の身を守る方法が分かった、と回答する児童を80%以上とする。	目標 80% 達成 90% 達成 95% 達成	避難所運営連絡会に出席して下さった保護者や地域関係者からの年度末アンケート調査で「避難所運営連絡会に参加してよかった」との肯定的な回答を80%以上とする。	目標 80% 達成 90% 達成 95% 達成		
特別活動・その他	○いのちとこころの教育の充実を通して、自己を尊重し、偏見・差別のない心情を育む学校づくりを行う。	○ハンセン病、こどもの権利など人権課題の解消に向けた学習を意図した計画的に設定し、児童の人権意識を向上させる。	多摩全生園・ハンセン病資料館の学習を統括して、こどもの権利、 インターネットによる人権教育 など人権課題の解消に向けた学習を意図した計画的に設定し、児童の人権意識を向上させる。	月1回の避難所運営連絡会へ管理職を中心に教職員が参加し、避難所開設訓練や 避難所運営連絡会での児童を保護者に引き渡すまでの間に校内体制の充実を図る。	目標 70% 達成 80% 達成 90% 達成	児童アンケートで、いざというときに自分の身を守る方法が分かった、と回答する児童を80%以上とする。	目標 90% 達成 95% 達成 95% 達成	保護者アンケート（自由記述を含む）で、学校は「きれいなことばときれいなことば」の運動などを通して、互いの権利を尊重して、思いやりの気持ちももてるような活動を行っている。の肯定的な回答を80%以上とする。	目標 80% 達成 90% 達成 95% 達成		
				東村山夢と希望プロジェクトの「いなかおあきん」の低・中学年で活用を充実させる。	目標 70% 達成 80% 達成 90% 達成	ハンセン病の方への偏見・感染者への偏見まで、学習時や授業時の児童の観察から、80%以上の児童に気づきがあったことを確認する。	目標 80% 達成 90% 達成 95% 達成	保護者アンケート（自由記述を含む）で、学校は「きれいなことばときれいなことば」の運動などを通して、互いの権利を尊重して、思いやりの気持ちももてるような活動を行っている。の肯定的な回答を80%以上とする。	目標 80% 達成 90% 達成 95% 達成		
				SDGs（持続可能な開発目標） スターパートナーとしての取組 を充実し、児童の持続可能な社会の担い手としての実践力を高める。	目標 80% 達成 90% 達成 95% 達成	児童アンケートで、授業等を通してSDGsへの意識が高まった、と肯定的に回答する児童の割合が80%以上とする。	目標 80% 達成 90% 達成 95% 達成	保護者アンケートで、学校はSDGsへの意識が高まるような取組を行っている。の肯定的な回答を80%以上とする。	目標 80% 達成 90% 達成 95% 達成		
				○オレンジ班（たてわり班）の機能を生かし、他者とかわる力の向上を図る。	目標 80% 達成 90% 達成 95% 達成	児童アンケートで、オレンジ班活動が楽しく、と肯定的に自己評価する児童を80%以上とする。	目標 80% 達成 90% 達成 95% 達成	保護者アンケート（自由記述を含む）で、学校は児童が安心して登校できるように、児童や保護者に適切に働きかけている。の肯定的な回答を80%以上とする。	目標 80% 達成 90% 達成 95% 達成		